

※即時解禁可能です。是非、本情報をご紹介ください※

2024年5月

Dance Performance LIVE 制作委員会

国内外で活躍するトップダンサーが集結

独創的かつ個性的なコンテンポラリー・ダンスが観るものを魅了する注目のステージが幕を上げる！

英名門バーミンガムロイヤルバレエ団プリンシパル 平田桃子

ウィーン国立バレエ団プリンシパル 橋本清香・木本全優

72歳のバレリーナ 尾本安代

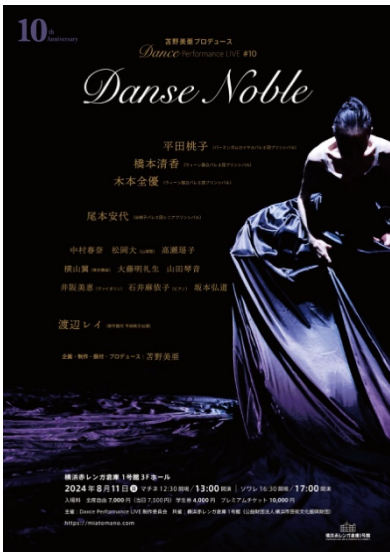
出演決定！

平素より大変お世話になっております。この度、横浜赤レンガ倉庫1号館ホールにおいて

「**苫野美亜プロデュース Dance Performance LIVE #10 10th Anniversary Danse Noble**」

を**2024年8月11日（日）**に開催することが決定しました！

本公演は独創的かつ個性的なアイデアで、観客の心に染み入るダンス作品を創ることで注目されている**新進気鋭の舞踊家・振付家 苫野美亜**が企画・制作・振付・プロデュースを務め、**今回で10回目を迎える人気のコンテンポラリー・ダンス公演です！**



「現形態に共通の形式を持たない自由な身体表現」

コンテンポラリー・ダンス。

その自由なダンスを芸術の域に引き上げた、独創的なステージが幕を上げます。

貴媒体にてご掲載・ご取材をご検討くださいませ。

よろしくお願い致します。

英名門バーミンガムロイヤルバレエ団プリンシパル 平田桃子

ウィーン国立バレエ団プリンシパル 橋本清香・木本全優

72歳のバレリーナ 尾本安代

出演決定！

バレエ界の至宝！英国バーミンガムロイヤルバレエ団プリンシパル 平田桃子
NDT やフランスのリヨン・オペラ・バレエ団などの世界最先端のダンスカンパニーで活躍した
渡辺レイの新作振付作品を踊ります。

ウィーン国立バレエ団プリンシパルとして世界で活躍するバレエ界のトップダンサー
橋本清香と木本全優がゲスト出演。

谷桃子バレエ団シニアプリンシパルとして今も舞台に立ち続ける 72 歳のプリマ**尾本安代**が
魅せる「白鳥」

日本を代表する舞踏カンパニー・**山海塾**の舞踊手として活躍する**松岡大**の出演も決定！

2021 年、文化庁芸術祭参加公演として上演された京都・龍安寺の石庭から着想を得た「十四夜月」
2022 年、多様なジャンルと多世代が交錯するアーティスティックな舞踊作品として好評を得た「HYORI」
「白鳥の歌」が好評の声を受けて再上演されます。

世代もバックグラウンドも異なる多様性に富んだ 1 日限りのパフォーマンス！！
観客との距離が近くダンサーの息遣いを間近に感じられる特殊な空間で是非贅沢な時間をご堪能ください。

上演作品

- ◎新作 世界初演（振付：渡辺レイ）：出演／平田桃子
- ◎十四夜月（振付：苫野美亜）出演／中村春奈、横山翼、山田琴音、大藤明礼生、石井麻依子、井阪美恵
- ◎Mozart à deux（振付：Thierry Malandain）：出演／橋本清香 木本全優
- ◎HYORI（ディレクション：苫野美亜）：出演／松岡大 高瀬瑠子 坂本弘道
- ◎白鳥の歌（振付：苫野美亜）出演／尾本安代

<Dance Performance LIVE とは>

舞踊家・振付家の苦野美亜が主催するダンスを核としたパフォーマンスを継続的に実施する企画です。その時々環境や状況設定により多様に変化し、「今」を共有するアーティストたちが集い、互いの価値観を尊重し触発しあいながら研ぎ澄まされたパフォーマンスを上演します。

2014年 横浜市テアトルフォンテ・アズビルアワード受賞。

2020年 芦屋市主催事業「芦屋夢ステージ」採択事業実施。

2022年 令和3年度（第76回）文化庁芸術祭参加作品公演実施。

苦野美亜コメント

舞踊家・振付家の苦野美亜です。日頃より多くの方に「舞踊」に興味を持っていただきたいという熱意を持って活動しています。4歳の頃からクラシックバレエを始め、世界的舞踊家・振付家である中村恩恵が主宰する「Dance Sanga」で活動し、新国立劇場バレエ団をはじめ、全国のバレエ団やバレエスクールで振付指導・コーチングの経験を積みました。

その後、芦屋大学経営教育学部バレエコース非常勤講師、熊川哲也主宰「K-BALLET SCHOOL」のコンテンポラリー講師に就任し、現在は後進の育成にも力を注いでいます。

2014年より自身が主催する Dance Performance LIVE 公演の企画・制作・振付・プロデュースを務め、「哲学×ダンス」「着物×ダンス」など、ダンスを軸に様々なジャンルのアートを絡めた斬新且つ前衛的な舞台芸術を提示しております。現代舞踊(コンテンポラリーダンス)と聞くと、難解で分からないという印象を持たれる方は多いと思います。

私が提示させていただく舞台公演は、同じ空間を共有する体感型の演出方法が高く評価されています。世代もバックグラウンドも異なる国内外で活躍する出演者による多様性に富んだ1日限りのパフォーマンス！！観客との距離が近くダンサーの息遣いを間近に感じられる横浜赤レンガ倉庫で是非贅沢な時間をご堪能ください。

開催概要

苦野美亜プロデュース Dance Performance LIVE #10

10th Anniversary Danse Noble

【日程】 2024年 8月11日(日)

マチネ 開場 12:30 開演 13:00 / ソワレ 開場 16:30 開演 17:00

【会場】 横浜赤レンガ倉庫 1号館 3F ホール

【入場料】 全席自由 7,000円(当日 7,500円) 学生券 4,000円

プレミアムチケット 10,000円

※未就学児のお子様のご入場はご遠慮頂いております。予めご了承下さい。

※開場時よりご入場順にステージツアーを行います。 ツアーに参加希望される方はお時間に余裕をもってご来場ください。

※公開ゲネプロ(有料)を8月10日に実施します。詳細はHPをご覧ください。

【チケット】 Teket にて 5 月 8 日(水)0:00 より発売開始！

<https://teket.jp/6598/34424>

【出演】

平田 桃子(バーミンガムロイヤルバレエ団プリンシパル)

橋本 清香(ウィーン国立バレエ団プリンシパル)

木本 全優(ウィーン国立バレエ団プリンシパル)

尾本 安代(谷桃子バレエ団シニアプリンシパル)

中村 春奈

松岡 大(山海塾)

高瀬 瑠子

横山 翼(東京舞座)

山田 琴音

大藤 明礼生

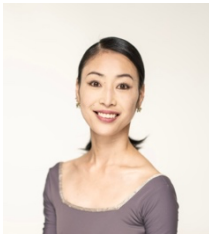
井阪 美恵(ヴァイオリン)

石井 麻依子(ピアノ)

坂本 弘道

渡辺 レイ[新作振付 平田桃子出演]

出演者紹介



平田桃子 | Momoko Hirata

5歳から山本禮子バレエ研究所でバレエを学ぶ。2001年、ローザンヌ国際バレエコンクールでエスポワール賞を受賞。イギリスのロイヤル・バレエ学校に留学。2003年に首席で卒業後、バーミンガム・ロイヤル・バレエ団に入団。2005年にファーストアーティスト、2008年にソリスト、2010年にファーストソリストに昇格。2011年、スペインのコレラバレエ団へ移籍。ニーナ・アナニアシヴィリ 30周年記念公演に、アンヘル・コレラのパートナーとして出演。2012年、バーミンガム・ロイヤル・バレエ団に移籍後、プリンシパルに昇格。バーミンガム・ロイヤル・バレエ団の日本公演にて、2015年に『シンデレラ』、2018年に『白鳥の湖』の主演を務めた。2021年、英国舞台批評家賞 outstanding female classical performance ノミネート



橋本清香 | Kiyoka Hashimoto 兵庫県神戸市出身。

6歳より山口けい子バレエスクールでバレエを始め、9歳より泉バレエ教室、ISバレエアカデミアで学ぶ。2001年フランス・カンヌ・ロゼラハイタワーに留学し、モニク・ルディエール師事。2004年、ドレスデン州立歌劇場バレエ団入団。2008年ウィーン国立バレエ団移籍。2012年ソリスト、2016年ルグリ版『海賊』主演後プリンシパルに昇格。マヌエル・ルグリ芸術監督のもとバレエ団のほぼすべての作品で主要な役を務めており、現在はマーティン・シュレプファー監督のもとで働いている。



木本全優 | Masayu Kimoto 兵庫県姫路市出身。

3歳より中田バレエシアターにて、中田弥生に師事。2003年フランス・カンヌ・ロゼラハイタワーに留学し、モニク・ルディエールに師事。2004年パリ国立高等音楽院に入学。2006年に卒業し、同年ドレスデン州立歌劇場バレエに入団。2008年ウィーン国立バレエに移籍。2011年ハーフソリスト・2013年ソリスト・2017年プリンシパルに昇格。主な主演作に、ヌレエフ版『ドン・キホーテ』のバジル、『白鳥の湖』のジークフリード王子、ルグリ版『シルヴィア』のアミンタ、ラコット版『ラ・シルフィード』のジェームス、『 Coppélia 』のフランツ、『ジゼル』のアルブレヒト、幅広い演目で主要な役を踊っている。



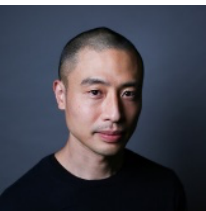
尾本安代 | Yasuyo Omoto 谷桃子バレエ団シニアプリンシパル。

1973年東京新聞全国舞踊コンクールにて第1位文部大臣奨励賞受賞。1978年～79年文化庁派遣芸術家在外研修員としてキューバ国立バレエ団及びモナコ・バレエアカデミーに留学。谷桃子バレエ団では「白鳥の湖」「ドン・キホーテ」「ジゼル」スウェーデンのクルーベル振付「令嬢ジュリー」(日本初演)などに主演。国内外のバレエ団に客演、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーなど幅広い舞踊活動を展開している。芦屋大学/経営教育学部経営教育学科バレエコース客員教授。



中村春奈 | Haruna Nakamura

5歳よりバレエを始める。杉原和子、田中千賀子に師事。第12回ことうべ全国洋舞コンクール 女性ジュニア2部 第2位第14回ことうべ全国洋舞コンクール 女性ジュニア部 第1位。ベルギー王立アントワープバレエスクールに留学。2008年Kバレエカンパニーに入団。2010年12月ソリスト、2015年8月ファースト・ソリストに昇格。2017年8月退団。主な出演作は、『くるみ割り人形』のマーリー姫／雪の女王、『眠れる森の美女』のフロリナ女王、『ラ・バヤデール』のガムザッティ、アシュトン振付『真夏の夜の夢』の4人の精、『レ・パティヌール』のブルーガール、リアム・スカーレット振付『Promenade Sentimentale』など。現在、フリーで活動。



松岡大 | Dai Matuoka

2005年より舞踏カンパニー山海塾に舞踏手として参加。「金柑少年」「とばり」「卵熱」「ARC」などの主要作品に出演中。街を歩きながらダンサーとミュージシャンによるパフォーマンスを鑑賞する「LAND FES」を主宰し、パフォーマンスを通じて共生社会を目指す活動に取り組む。また2018年より「スクランブル・ダンスプロジェクト」の講師・演出を務める。神奈川県共生共創事業映像作品「いま、生まれたばかり」演出ならびに出演。2021年、Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル 13「Tokyo Real Underground」キュレーター。NYのシアターカンパニー「Phantom Limb Company」の舞台に出演するなど、海外アーティストとのコラボレーションも多数。



高瀬瑠子 | Yoko Takase

幼少よりモダンバレエを始め、16歳よりクラシックバレエを学ぶ。出産を経て進化/退化する身体との対話を重ね、“骨で動ける身体”をテーマにダンサーとして活動中。ジゼル・ヴィエヌ、白井晃、森山開次、中村恩恵、近藤良平、青木尚哉等の作品に出演。近年では能や演劇、光など他ジャンルとの協働により生まれる表現も探究している。また、ダンサーならではのアプローチで子どもの教育に携わるべくワークショップなども行う。こうべ全国洋舞コンクールモダンダンス部門1位受賞。2022年度 DANCE BOX アソシエイト・ダンサー。



横山翼 | Tsubasa Yokoyama

真下教子バレエ研究所にてバレエを始め真下教子、百百子に師事。その後新国立劇場バレエ研修所を経て、新国立劇場に在籍した後、芦屋大学を卒業し現在は東京舞座でバレエマスターを務める。北海道コンクールシニアの部 銀賞。国際資格であるISTD (Impreial Society of Teachers of Dancing) チェクテッィバレエメソッド intermediate advanced1 とともに distinction で合格。芦屋大学ディプロマコースにて教師資格を獲得



山田琴音 | Kotone Yamada

ヤマダバレエスタジオを主宰する両親のもとでバレエを始める。2016年韓国国際バレエコンクール シニア部門 Finalist、Korea Ballet Foundation Award 受賞。第5回 上海国際バレエコンクール シニア部門 Finalist。2019年 St.Petersburg Classic Ballet イギリスツアーにソリストとして参加。2020年10月～2022年6月 Iwaki Ballet Company 所属。2021年 令和3年度文化庁芸術祭参加作品 苦野美亜作品「十四夜月」に出演。現在フリーで活動。



大藤明礼生 | Areki Daito

6歳よりバレエを始め、英国・Northern Ballet School に3年間留学 David Needham, Peter Parker 等に師事。帰国後、新国立劇場バレエ団、スターダンサーズバレエ団を経て、フリーのバレエダンサーとして、元東京小牧バレエ団、松山バレエ団等複数のカンパニー公演に出演する他、バレエに留まらずジャズ、コンテンポラリー等数々の舞台で多岐に渡り活動中。又現在はバレエの他、ピラティスやヨガの指導も各地で行う。



井阪美恵 | Mie Isaka

桐朋女子高校音楽科を経て渡欧し、5年半に亘り巨匠 P.アモイヤル氏のもとで研鑽を積む。ローザンヌ高等音楽院を満場一致の最高位を得て卒業。同時にエクセレント・リサイタル賞を受賞。その後、ザルツブルク・モーツァルテウム大学大学院を満場一致の最優秀で修了。2008年ヴァトロンパルコンクール(パリ)第1位及び審査員特別賞を受賞。第21回ブラームス国際音楽コンクール(オーストリア)室内楽部門セミファイナリスト。フランス、スイスを中心に、数多くの演奏会やフェスティバルに出演。帰国後はソリストとしての活動の他、特別編成オーケストラとしてテレビ朝日『題名のない音楽会』への出演、反田恭平率いるジャパンナショナルオーケストラへの客演など、室内楽及びオーケストラの分野でも活躍する。



石井麻依子 | Maiko Ishii 東京音楽大学器楽科ピアノ専攻卒業。

1998年渡仏。ヴェルサイユ国立地方音楽院ピアノ科、室内楽科を1er prix de l'unanimitéで卒業。同音楽院オーケストラと共演。パリ・エコールノルマル音楽院上級過程修了。在学中からパリ国立地方音楽院、パリ市立音楽院、Studio centre du Marais、モンパルナスダンスアカデミー等でバレエピアニストとしての研鑽を積む。2006年11月よりK-Ballet 専属ピアニストを務める。2013年よりコンテンポラリーダンスの伴奏活動を開始。北村明子作品や苫野美亜作品の音楽に携わる。2016年9月よりKバレエスクール主任ピアニスト。



坂本弘道 | Sakamoto Hiromichi

主にチェロ、ノコギリを奏する。

ソロ公演、多種多彩なセッションを国内外で展開。ライブでは電動工具まで飛び出す

唯一無二のパフォーマー。また作曲家として多くの舞台や映像の音楽制作に携る。シスカンパニー『風博士』『奇蹟』、KERA MAP『修道女たち』、パルコプロデュース『桜文』、アニメーション『緑子 / MIDORI-KO』(監督:黒坂圭太)等々。所属バンド「パスカルズ」に於いてもTBSドラマ『凧のお暇』『妻、小学生になる。』映画『さかなのこ』『川っぺりムコリッタ』等、近年立て続けに劇伴を手掛けている。音楽フェス「JAZZ ART せんがわ」プロデューサー。



渡辺レイ | Rei Watanabe (平田桃子作品振付)

10歳より山本禮子バレエ団にて 山本禮子に師事。第47回東京新聞全国舞踊コンクール(バレエ・バドゥ部門)第1位 文部大臣奨励賞受賞。1993～オランダのネザーランド・ダンス・シアター2(NDT II)に入団。1997～フランスのリヨン・オペラ・バレエへ移籍。1999～スウェーデンのヨーテボリ・オペラ・バレエに移籍。2002～ネザーランド・ダンス・シアター1(NDT I)へ移籍。2005～スウェーデンのクルベルグ・バレエに移籍。2006～ヨーロッパをオランダのデンハーグとチェコのプラハを拠点にフリーランスアーティストとして活動。2012年4月～日本に拠点を移し『Opto Dance Project』結成。2012年～山本禮子バレエスタジオ・常盤高等学校バレエ専攻科コンテンポラリークラス指導や日本女子体育大学(ゲスト講師)など後進の育成に力を入れる。2013-2023 Kバレエスクール小石川校コンテンポラリー指導。2017年K-Ballet Tokyo にて熊川哲也との共作共演『Fruits de la passion』を上演。2018年K-Ballet Tokyo公演New Piecesにて『FLOW ROUTE』新作発表。2023年 3月 フリーランスアーティストとして活動。コンテンポラリーワークショップ、作品振付演出など創作活動を行い芸術文化の研鑽に務める。

【スタッフ】

舞台監督:川口 真人(レイヨンヴェール)、原口 佳子(合同会社小声)

照明:久津美 太地

大道具:株式会社ステージワーク URAK

衣裳:岩戸 洋一、本柳 里美、喜多 理恵、川島 映子

映像:戸澤 徹、渡邊 昌代

宣伝美術:寺坂 薫[kalin]

主催:Dance Performance LIVE 制作委員会

共催:横浜赤レンガ倉庫 1号館(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)

助成:神奈川県文化芸術活動団体事業補助金対象事業

苫野美亜プロフィール

芦屋市出身。4才よりクラシックバレエを始める。山口けい子に師事。

1995年山本禮子バレエ団附属研究所に入所。関田和代に師事。

常磐高等学校バレエ科卒業後、山本禮子バレエ団に入団。

2002年NBA全国バレエコンクール第2位受賞。

2007年中村恩恵主宰「Dance Sanga」にて活動。中村恩恵作品に多数出演する他、新国立劇場バレエ団はじめ全国のバレエ団やバレエスクールで中村作品の振付アシスタントやコーチングを数多く務める。

2014年より主催公演 Dance Performance LIVE の企画制作プロデュースを務める。

2014年横浜市テアトルフォンテ・アズビル・アワード受賞。

2015年～2018年芦屋大学経営教育学部バレエコース非常勤講師。

2015年～熊川哲也主宰「K-BALLET SCHOOL」コンテンポラリー講師。

2020年週刊オン・ステージ新聞年間ベスト振付家に選出。

現在、フリーの舞踊家・振付家として全国で振付作品の上演、ワークショップを開催している。

<https://miatomano.com>

上演作品

◎新作 世界初演（振付：渡辺レイ）：出演／平田桃子

◎Mozart à deux（振付：Thierry Malandain）：出演／橋本清香、木本全優

◎十四夜月（振付：苫野美亜）

出演／中村春奈、横山翼、山田琴音、大藤明礼生、井阪美恵、石井麻依子

◎HYORI（ディレクション：苫野美亜）：出演／松岡大、高瀬瑤子、坂本弘道

◎白鳥の歌（振付：苫野美亜）出演／尾本安代

これまでの公演評

『ダンサー・音楽家の息遣いが間近で感じられる緻密なバランスで調和させた十四夜月』

苫野美亜プロデュース Dance Performance LIVE #7「十四夜月 クラシックからポストクラシカルへ」

[CultuArt Scene 2021/11/20 掲載より抜粋](#)

6つのパートに分けられた作品は、生演奏と録音、ソロダンスとユニゾン、照明効果といった要素を非常に緻密なバランスで調和させた。そのすべてが精妙であり、龍安寺の石庭を目の当たりにして感じる静けさや四季折々の風景を、制作者の感覚を通して舞台上で見ることが出来た。

—四柳 育子 text by Ikuko Yotsuyanagi (2021年10月31日 神戸ファッション美術館オルビスホール)

『様々な世代の舞踊家たちの表現のコントラストが浮かび上がった興味深い公演』

苫野美亜プロデュース Dance Performance LIVE #8「mid/point」

[チャコット Dance Cube ワールドレポート東京 2023/1/23 掲載より抜粋](#)

本公演は若さ溢れる青年期の闊達な踊り、肉体と精神がほぼ完成し、社会を支える壮年期の踊り、そして肉体表の制約を受けながらも精神的に最も豊かな時期である老年期の人生の集大成を感じさせる踊りと、それぞれの年代の身体表現の特徴がくっきりと浮かび上がる興味深い構成の舞踊だった。

—香月 圭 text by Kei Kazuki (2022年12月29日 横浜ランドマークホール)

【写真・資料のご請求・お問合せ】

Dance Performance LIVE 制作委員会 近藤美生(こんどう みお)

TEL 090-2524-0580 FAX 0797-34-1077 Mail miatomano@yahoo.co.jp

(〒659-0014 芦屋市翠ヶ丘町 18-5 <https://miatomano.com>)

